

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 7年 3月 26日

事業所名 そよかぜ高田教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・集中して取り組みやすいようパーテーションで仕切って調節している。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	・5歳児グループ支援では、活動内容に応じて支援者の人数を調節して行っている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	・トイレの排泄で必要に応じて、マットを敷いてそのまま利用できるようにしている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・支援後の片づけの際、毎回整理整頓をして整えることで心地よく活動できるようにしている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・個別の部屋を確保しているが、足りない時にはパーテーションで仕切って確保している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	・特にグループ支援では事前と事後の話し合いを設けている。	・職員が多く参加できる日時に行っていきたい。
	7 保護者等向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	・保護者向け評価を実施している。その結果から次年度の取り組み課題を洗い出し業務改善している。	・できていない内容に関しては検討していく。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2		・話し合う機会はあるが改善できていない意見もある。今後も検討していきたい。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	・町内民生委員の方に第三者委員を依頼し、苦情があれば外部評価をしてもらうことになっている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・各種研修会に参加し、学んだことを職員間で共有したり、支援に取り入れたりしている。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・町ホームページに掲載されている。	
適切な支援の提供	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	・保護者とアセスメントを行い、記録に残している。 ・アセスメントから子どもの実態を把握し、課題や目標を検討している。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・担当支援者と児童発達支援管理責任者で検討・共通理解をして作成している。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	・グループ支援話し合いの中で共通理解し、個に応じた支援が行われている。	・さらに共有できるよう進めていく。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	・発達検査などの検査結果やアセスメントから子どもの発達や適応行動の状況を読み取ることに努めている。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	・個別支援計画にガイドラインに準じ、一人ひとりに応じた具体的な到達目標や支援内容、配慮事項を検討している。 ・児童発達支援管理責任者と支援員との間で、それぞれの項目について話し合い、支援内容を設定している。 ・保護者の願いやニーズも組み込まれた内容になっている。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・職員間でグループ支援の活動内容、方法、流れを検討している。さらに毎回の支援ごとにも参加する子どもの特性から配慮事項を再度確認している。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・対象児の成長や特性に合わせた活動内容を検討している。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・児の発達状態や実態より、個別支援とグループ支援の割合や回数組み合わせ、個別支援計画を作成している。また、保護者との話し合いで共通理解している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・毎回の支援ごとに職員間で環境構成、支援内容の確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	・支援終了後、出来る限り職員間で振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・毎回の支援記録を残している。また記録から次回支援の改善を検討している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・保護者とのモニタリング時間を確保している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	・サービス担当者会議に児童発達支援管理責任者が参加している。	・担当支援者も参加できるようにしたい。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・各種関係機関と連携体制を整え、連携を取っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	・就園や転園の際は引継書を作成している。 ・各園との園訪問と連携ファイルを通し情報共有を図っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	・就学前に引き継ぎ書を作成し、引継会を開催している。	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	1	・近隣の専門機関と連携を取り、必要な助言をいただいている。	
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	・支援の中で、町内の別の園に通っている子どもが交流できている。	・改めて交流の機会は設けることができていない。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・毎回の支援後に保護者との話し合う時間を設け、共通理解を図っている。	
保護者への説明責任等	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	・保護者学習会や専門家による個別相談会を設けている。	
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・契約時に説明を行っている。・年度始めに保護者の会を開催し、説明をして同意書を得ている。	・支援プログラムも運営規程同様に掲示する。
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・3カ月に1回、保護者とのモニタリングを行う中で家族の意向を確認している。	
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	・3カ月に1回、児童発達支援計画を作成する際、保護者からの同意を得ている。	
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・定期的な機会のみならず、いつでも相談に応じられるようにしている。	
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2	・保護者交流会、学習会を開催している。	・きょうだい同士で交流できる方法を検討する。
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・普段より気軽に相談できる関係づくりをしており、担当支援者や室長に相談してもらっている。 ・新規相談に対し、迅速に相談時間を設けている。	
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	2	・年3回そよかぜ通信を発行している。	
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・個人情報を取り扱う時には保護者の同意を得ている。・個人情報に関するものは鍵のかかる書庫に保管している。また、書類を破棄する際は、必ずシュレッターを利用している。	

	40	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・ゆっくり丁寧に分かりやすく伝えている。 ・図や写真等視覚情報を利用している。	
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	・社会体験として、施設外に出ることで地域の方と触れ合える機会を設けている。	・地域の方を招待する機会は設けていない。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	・各種マニュアルを周知するために掲示している。 ・各種マニュアルに対し、発生を想定した訓練を実施している。	
	43	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・各種訓練を行っている。・地震、火災、水害を想定した避難訓練は児も参加している。	
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	・契約時に確認している。	
	45	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	3	・口頭での確認をし、職員間で情報を共有している。	・医師の指示書も検討していく。
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・安全計画を作成し、研修や訓練を行っている。	
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	・訓練の様子を写真で掲示し、保護者にも周知している。	
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1	・ヒヤリハットの記録を残し、現場に居合わせた職員と室長とで共有している。	・職員間で共有できるよう回覧する。
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・そよかぜ飯田教室、福祉作業所と合同の研修会を開催している。・児童発達支援管理責任者が県開催の研修会に参加している。	
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	2	・身体拘束が必要な通級児が現在通級していない。	・対象児が出た時の対応方法を共有しておく。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。